



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT

NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第2123回



2025 年 2 月 17 日

◆ゲスト紹介

鹿屋中央高等学校インターアクトクラブ

顧問 尾村ふみ様

IA 生 田代菜花さん、城下雪乃さん

市坪美祐さん、永野心愛さん

井上 慧さん、今吉芹寧さん

◆ビジター紹介 (2/10)

〔かのや東 RC〕 日高裕二さん、森 健一さん

矢野常広さん、山下かすみさん

◆会務報告

1. 風の便り Vol.10 No.7
2. クラブ例会卓話 実施のお願い(地区公共イメージ)
3. 財団寄付へのご理解ご協力を
4. 令和 6 年度鹿屋市国際交流協会助成金交付決定通知書の送付について
5. 第3回クラブ・地区支援室メッセージ
6. ロータリー奉仕デー計画書の提出について
7. 障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例について&出前講座のご案内
8. 会長エレクト研修セミナー開催のご案内（再送）及びプログラム（案）送付
9. 令和 7 年地域づくり交流事業実行委員会第 2 回例会のご案内
日時：令和 7 年 3 月 11 日(火)12:00 より
場所：ホテルこばやし
10. 串木野ロータリークラブ創立 60 周年記念講演会・式典・祝賀会のご案内
と き：令和 7 年 4 月 26 日(土)
講演会 13:00～ 式典 16:00～
ところ：いちきアクアホール（講演会）

ホテルアクシアくしきの（式典・祝賀会）

11. 8RC 親睦ゴルフ大会開催のご案内

日時：令和 7 年 5 月 31 日(土)9:30 集合

*雨天順延の場合 6 月 7 日(土)

会場：大隅カントリークラブ

12. 週報 …… 串良 RC・きもつき RC・志布志 RC

志布志みなと RC・南九州大崎 RC

13. 3 月例会変更のお知らせ

〔鹿屋 RC〕 12 日(水) 職場訪問例会

12:30～鹿屋市下水処理センター

19 日(水) 18:30～笠之原ボウル

RA 合同例会(チャリティボウリング大会)

〔串良 RC〕 10 日(月)⇒9 日(日)例会 8:00～

第 30 回招待小学生バレーボール大会開催

会場：有明町総合体育館

17 日(月)ロータリー奉仕デー12:30～

東串良町農村環境改善センター

31 日(月)観桜会 18:30～ 会場未定

〔きもつき RC〕 20 日(木)⇒23 日(日)へ変更

ロータリー奉仕デー 例会 11:00～

会場：黄色いハンカチ東家

〔志布志 RC〕 4 日(火)⇒12 日(水)19:00～

志布志みなと RC と合同例会

志布志市役所本庁 1F 東側会議室

11 日(火)第 2 週目につき例会なし

18 日(火)祝日週につき休会

〔志布志みなと RC〕 5 日(水)⇒9 日(日)10:00～

志布志市文化会館(スピーチコンテスト)

12 日(水)志布志 RC と合同例会 19:00～

志布志市役所本庁 1F 東側会議室

19 日(水)モニュメント清掃 若浜埠頭 18:00～

次回プログラム		
3 月 10 日 (月)		
卓 話 者： 峯崎 美千代 さん		
担当委員会： プログラム委員会		
3分間スピーチ： 下茂 正和 さん		
出席報告	会 員 数	(39)41 名
	出 席 数	35 名
	出 席 率	89.74 %

メイクアップ情報			
鹿 屋	03月05日	(水)	ホテルこばやし
かのや東	03月06日	(木)	かのやランドホテル
串 良	03月03日	(月)	セントロランド 道の駅
志 布 志	03月04日	第1週:理事会 例会無	⇒12日(水)志布志市役所
きもつき	03月06日	19:00～合同例会	(木)高山温泉ドーム
南九州大崎	03月06日	第1週:理事会 例会無	(木)セントロランド
志布志みなと	03月05日	第1週:理事会 例会無	⇒9日(日)10:00～
			志布志市文化会館

鹿屋西ロータリークラブ		
会 長： 鶴丸 秀治		
副会長： 王谷 英仁		
幹 事： 假屋 博行		
例会日 月曜日 12:30～13:30		
例会場 ホテルさつき苑		TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10		
ホテルさつき苑内		TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp		

会長の時間

会長 鶴丸秀治さん

平和の大使（台湾派遣）

今回は、明日2月18日に出発となりました平和の大使派遣事業についてお話をさせていただきます。

まず、台湾の大きさです。

ほぼ九州と同じくらいの広さに 2340 万人が住んでいます。九州の人口は 1,414 万人ですので、台湾の方が多く住んでいますが、日本と同じように出生率は下がっているそうです。

空港がこちらです。空港に近いところに今回お世話になる荘さんがお住まいです。

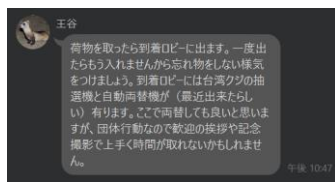
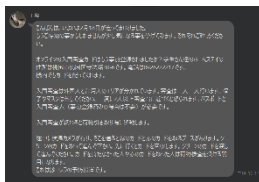
龍潭は桃園縣龍潭区です。台北はこちらですので、台北に隣接している感じです。



こちらは今回お世話になる、龍潭ロータリークラブのメンバーです。こちらが元会長の荘さんの奥様と 2020-21 の会長の荘さんです。

今回は王谷さんに、細かいところまで荘さんをはじめとする龍潭の方々と調整していただきました。

こちらは LINE グループでのやり取りの一部です。
読んでみたいと思います。



両替所の写真も見つけて LINE に上げていただきました。

1 目 目

[illegible]

こちらは教育委員会から頂いた 1 日目のスケジュールです。教育委員会が主催する「PR 大使」のスケジュールが詰まっています。

一部を私どもの「平和の大使」も同行させていただいていますが、1 日目は台北教育大学でプレゼンやカンパチダンスを踊ったりして交流します。17:30 に「ベルタワー」に荘さんをお迎えに来ていただきます。



こちらがベルタワーだと思います。荘さんに頂いたスケジュールではベルタワーのあとは「クログロシン」で食事のようですので、調

2 日目は、7:50 までに龍門中学校に集合です。教育
委員会の「PR 大使」は 20:00 までプレゼンが続きます。
我々「平和の大使」は、台湾で給食を頂いたあと 12:40
に荘さんが迎えに来てい
ただきます。龍門中の近く
には大安森林公園があり
ます。龍門中の隣です。
また、台北 101 では大谷
選手の 50/50 達成のボールが 2025 年 3 月 2 日まで
展示されていますので、そちらに足を運ばれてもいい
かもしれません。また、現在ランタンフェスティバルが開
催中です。



この時期に行けたのはとてもラッキーだと思います。



さて、3 日目です。この日は一日観光です。

まずは千と千尋の神隠しの舞台になったと言われる、

九扮

次に十份

南天宮



夕食は王朝料理でこんな感じでしょうか。

4 日目に朝はまずランタンフェスティバルの予定です。昼間も何かあるのかもしれませんが。最後の食事は牛肉麺のようです。空港まで送っていただいております。

　　莊さん、龍潭ロータリークラブの方々、そして王谷さんには本当に世話になりました。子どもたちが国際交流の大切さ楽しさを体験して、未来を担うリーダーとして成長していく手助けになれば幸いです。

それではここで、引率していただく中原さんと瀧本さん、壇上に上がっていただきスピーチをいただけませんか？ 中原さん、滝本さんのお二人には貴重な時間を割いて引率していただきます。





お二人もどうぞ楽しんで帰ってきていただきたいと思います。
 ます。ご清聴ありがとうございました。

3分間スピーチ

東濱貴己 さん

皆さん、こんにちは。

本日は「マイホームの計画」についてお話しさせていただきます。

私は今、マイホームの購入を計画していますが、なかなか悩みが尽きません。

特に「間取り」と「価格」の問題です。

まず間取りについてですが、家族が快適に暮らせる空間を作るのは想像以上に難しいです。

リビングを広くしたい、収納を増やしたい、サニタリーの配置などそんな希望をすべて叶えようとすると、どこかで妥協が必要になります。

また、将来のライフスタイルの変化を考えると、どんな間取りが正解なのか迷うばかりです。

さらに、大きな課題が「価格の高騰」です。

ここ数年で建築費がものすごく上がり、同じ予算でもできることが限られてきました。

資材価格の上昇、人件費の増加、円安の影響などが背景にあります。

例えば、数年前なら手が届いた設備や仕様も、今では予算オーバーになってしまうことが珍しくありません。

理想と現実のギャップに頭を悩ませています。

しかし、このような状況だからこそ、家づくりには工夫が求められます。例えば、流行のデザインよりも、長く快適に暮らせる設計を重視する。

あるいは、将来リフォームしやすい構造にしておくことで、柔軟な対応が可能になると思います。

家は一生に一度の大きな買い物なので、慎重になりすぎて前に進めなくなることもあります。最終的には「自分たちが納得できる家」を目指して、妻と毎日喧嘩をしながら話し合っ

皆さんは、すでにマイホームを建てられてる方がほとんどかと思

ぜひ、皆さんの経験やアドバイスをお聞かせいただければと幸いです。

ご清聴ありがとうございました。



ゲスト卓話

釜山国際交流 報告発表

鹿屋中央高等学校 インターアクトクラブ

(田代さん、城下さん、市坪さん、永野さん、井上さん、今吉さん)

私たち鹿屋中央高校インターアクトクラブの6名は、11月1日から4日まで、釜山国際交流に参加しました。今日はその4日間で体験したことや学んだことを発表したいと思います。



【1日目】

1日目、私たちは、早朝学校から都城へ行き、都城から福岡へ向かいました。

昼頃にカメリア号にて博多港から釜山港へ向かいました。6時間ほど船に揺られながら、船の中のカラオケで歌ったり、おしゃべりしたりと自由に過ごしました。

釜山港に到着した時は雨が降っていましたが、船の上から釜山の綺麗な夜景を一望することができました。そして、日本円を韓国のお金ウオンに換金し、入国手続きを終わらせました。

それから、私たちは釜山観光ホテルに荷物を置いて、夕食を食べに「クンチプ」へ行き、初の韓定食を食べました。韓定食とは、韓国の伝統的な献立によって数種類の料理が出る定食のことです。韓国料理の膳立ては西洋の定食のように格式ある料理で、前菜、主食、おかず、デザートで構成された膳立てです。

本場韓国の料理は思っていたより辛かったですが、ブルコギやチヂミ、チャプチェなどたくさんの料理があり、食事を楽しみました。

夕食を済ませた後は、釜山市内を散策しました。韓国ではロッテが大きい会社で広く知られており、ロッテモールと呼ばれるデパートが約110店舗あります。そこにある食品売り場で、チョコパイや韓国の伝統菓子のヤッカなどを買いしました。また、ホテルの近くに Nice to CU というコンビニがありました。この CU は、韓国全土で約15,000店舗を展開している、韓国最大手のコンビニエンスストアチェーン店です。

韓国の人気商品が備えられており、ビヨットと呼ばれるヨーグルトとシリアルがセットになった韓国定番のヨーグルトを買いしました。

買い物を楽しんだ後ホテルへ戻り、明日のために体を休めました。



【2日目】

2日目の午前に、甘川文化村へ行きました。甘川文化村では、カラフルな家並みや壁面アート、星の王子様のオブジェクトがとても印象に残りました。お店も多くあり、買い物も楽しむことができました。

その後、韓国観光高校での交流会に参加しました。まず最初に、韓国観光高校の生徒とペアになって活動しました。韓国語で名札を作ったり、ペアになった生徒とお互いの言語を教えあったりして、親交を深めました。その後、文化祭に参加しました。バスケットコートがある校庭で、生徒がたくさんのお店を出店していました。韓国ならではの食べ物であるキンパやトッポギ、手作りのデザートやドリンクなどを楽しみました。韓国人のペアの生徒と一緒に周り、とても充実した時間を過ごすことができました。

それから移動して、韓国伝統文化を体験しました。そこで、民族衣装のチマチョゴリを着ました。チマチョゴリのチマにはスカートという意味があることを教えてもらいました。普段着ることはないものなので動きづらかったですが、とても貴重な体験ができました。

その日の夜、ホテルであったインターアクト交流会に参加しました。そこで日本人のインターアクト生と、「青い珊瑚礁」を歌いました。その時、韓国で流行っていたそうです。また、韓国のインターアクトの生徒たちと一緒にご飯を食べたりしました。プレゼントを交換して、おしゃべりをしているうちに時間があっという間に過ぎてしまいました。解散するのはとても寂しかったです。移動の際にも、韓国の街並みや鹿児島にはないような高い建物をたくさん見ることができました。

2日目には、さまざまな活動があり、移動などで疲れましたが、韓国の文化を学んだり、生徒と交流したりなど初めて経験することが多く充実した1日を過ごすことができました。

【3日目】

3日目は、朝食でホテルの近くのクッパ屋さんに歩いて行きました。最初はシンプルな味付けで、後から調味料で自分好みに味を調節できるのが、新鮮でした。その後ホテルをチェックアウトして、バスで国際市場のスーパーに向かいました。そこではお土産を沢山買いました。

(雪)私はお菓子和オススメされたクッパのレトルトを買いました。

(菜)私はお菓子とインスタントコーヒーを買いました。そして屋台街を歩いて龍頭山公園に向かう途中に、面白いものを発見しました。

それは、信号が足元にも付いていることです。

動画のように、信号が変わると足元のライトも変わる仕

組みです。日本には無い面白いシステムでした。

そして龍頭山公園に着き、公園内にある免税店に入りました。その後、釜山博物館へ行きました。そこでは歴史ある展示物が沢山あり、昔使われていた食器や石塔を見ました。一通り見終わった後、カフェに行き、スムージーを頼みました。そして、昼食のサムギョプサルを食べに行きました。バイキング方式で好きなお肉などを取り、自分達で焼いて食べました。お肉が塊状になっていて、最初切るのが難しくて、難航していた所に添乗員さんが来て、慣れた手つきでお肉を切って貰いました。柔らかいお肉を様々な調味料で頂き、絶品でした。そして、店内の日本より圧倒的に安いガチャガチャを回しました。硬貨の入れ方が不思議で、かわいいキーホルダーをgetしました。

次に、busan x the skyへ行きました。エレベーターであっという間に移動し、最上階の100階へ行きました。100階からの景色は言葉に出来ないほど圧巻でした。そして、クショッキン・ブリッジというクリアな床があり、スリル満点で思わず、写真を撮りました。また、天国への階段と言われている所でも写真を撮りました。その後、近くの高雲台海水浴場へ行き、歩きました。あまりの美しい景色に日本へ帰りたくないと思いました。

帰りに夕食で中華料理を食べに行きました。ジャージャー麺とチャーハンを食べました。初めて食べるジャージャー麺は不思議な味で少し癖になりました。

最後に福岡行きの船の甲板で夜景を見ました。釜山の夜は鹿児島よりもずっとキラキラしていて、それが海に反射する様子を見て、皆で思い出話をしながら、韓国を出発しました。

【田代さんの感想】

私は、昨年と今年の計2回、都城市で行われる韓国インターアクト生との交流会に参加しています。同世代の外国の方とコミュニケーションをとることは私にとって初めてのことで、考え方や文化の違い、様々な点において新しい発見がありました。

私自身、言語や文化について興味があり、今回の韓国での交流会は、韓国インターアクト生との交流ができる以外にも、釜山の言語や文化に生で触れることができる機会だと感じたので、志望させていただきました。

釜山国際交流は、まさに「百聞は一見に如かず」でした。生身で現地に行き、経験することは、どんな知識にも勝るということを直に感じる旅でした。

現地でしか味わえない本場の韓国料理を釜山食べられたことは、私にとって一番の経験でした。

韓国料理は私の舌に合うみたいで、ハマりました。

今度家族や友人と、韓国料理を食べに行くことを目的

として韓国を訪問したいです。

インターアクト生との交流会では、前回日本で行われた交流会で知り合った友達と再会することができ、初めて会う方とも沢山お話をしました。

韓国インターアクト生はどの方ともみんなフレンドリーで、常に笑顔で話しかけてくれました。心地の良い空間で、心から来てよかったなと思いました。

そのほか、観光地もたくさん巡り、釜山を最大限に満喫する最高の旅でした。私が釜山で一番好きなのは夜です。高い街並みに光が灯って、それが海に反射して、今まで見たどんな景色よりもずっと綺麗でした。またこのような機会があったら是非参加したいです。

【井上さんの感想】

私が今回の国際交流訪問に参加した理由は、7月に宮崎で行われた交流会で韓国に興味を持ったからです。釜山は、鹿児島から東京よりも距離的には近いのに、日本とは全然文化が違って驚きました。

例えば、食文化では、日本では、器を持たないと行儀が悪いとされていますが、韓国では器を持って食べる方が失礼と考えられています。同じ行為でも文化によって違う意味になるのがおもしろいと感じました。

また、韓国の制服と日本の制服には違いがあったため、韓国の学校は日本とどんな違いがあるのだろうと、韓国の高校に心惹かれました。

私の今回の国際交流訪問での1番の思い出は2日目の釜山観光高校の文化祭に参加したこと。ステージ発表の規模が同じ高校とは思えないくらい豪華で一気に引き込まれた感じがしました。中でも、迫力のある太鼓の演奏がすごく印象に残っています。

また、出店の数も多く、種類も豊富で見て回るのが楽しかったです。初めて海外の学校に行ったので、建物や教室の作りが日本と違い、とても新鮮でした。

その日の夜の交流会では、青い珊瑚礁をインターアクト生みんなで歌ったり、逆に同じテーブルだった学生さんが歌を歌ってくれたりしてすぐに打ち解けることができました。お互い話す言語が違い、翻訳機を使いながらの会話だったので少し大変でしたが、ジェスチャーや表情で伝えるのが楽しかったです。

また、同じ卓だった学生さんは英語が達者だったので、英語で会話できる友達ができて嬉しかったです。これからも彼らとの会話を通して英語を学び、自分の英語力を伸ばすきっかけにしたいと思いました。

今回の国際交流訪問が初海外、初韓国、初釜山だったので、出発前はいろいろなことが不安でとても緊張していましたが、そんなことを忘れてしまうほど充実したあつという間の3日間でした。

また機会があれば是非韓国に行きたいです。

【市坪さんの感想】

元々、韓国はおろか外国にほとんど興味がありませんでした。しかし少しの好奇心で参加してみた7月の交流会で、韓国人の人柄の良さや同じ高校生とは思えないほど、積極的にコミュニケーションをとっている姿勢に魅力を感じ、もっと関わりを持ちたいと思いました。また、韓国の食べ物や文化などにも興味がわいて、実際に現地に行ってそれらに触れてみたいと思い、国際交流訪問に参加しました。

最も心に残っているのは、釜山観光高校へ訪問して、高校生と交流し、文化祭に参加したこと。韓国の高校生との言語の教え合いに始まり、それらを活用した名刺作りやコミュニケーションで少し仲を深めることができました。文化祭へ参加する際もパートナーが手を引いて案内してくれて、改めて韓国人の人の良さに魅了されました。私たちへの気遣いも感じる事ができ、とてもうれしかったです。また、おすすめの食べ物をたくさん紹介してくれました。どのような料理なのか日本語でがんばって説明してくれたので、初めて知る食べ物もどんなものか知ることができました。

さらにパートナーの友達とも会話ができて、フレンドリーな性格の方が多く、友達の仲もとても良いことが伺えて、彼らのやり取りを見ていて、とても微笑ましい気持ちになりました。とても楽しく充実した時間を過ごせたので、別れがとても辛かったです。

また何らかの形で会えるといいなと思います。使い慣れないウォンを使った買い物は、商品を見ていだけで楽しく、余った小銭はとても大切な思い出の品になりました。チマチョゴリや博物館など韓国の文化や歴史にも触れられて良い経験になりました。

今回の国際交流訪問は、楽しく充実し、貴重な時間を過ごせたと同時に海外に対しての印象が変わり、テレビ越しに見るだけでは実際はその国の一部分しか知ることができないんだと気づきました。現地の人々と交流し、文化や歴史に触れることで、それぞれの国の良さが感じられると思いました。これからは、海外にもっと興味を持って過ごしていきたいと思っています。

これで、鹿屋中央高校インターアクトクラブの発表を終わります。最後までご清聴いただき、ありがとうございました。



「ロータリー」3月号の見どころ

- 特集 水と衛生月間「トイレが使えない恐怖」
- RI 会長エレクト「マリオについて知っておくべきこと」
- 「SPEECH」
「財産と命を守る防犯マニュアル」
犯罪コメンテーター・犯罪評論家・元警察官
佐々木成三氏の講演趣旨
- 「この人訪ねて」
平野幸司さん（岡山西ロータリークラブ）
- 友愛の広場
岡島辰雄さん（高鍋 RC）
大重勝弘さん（指宿 RC）
などなど



▲ガバナー月信はこちらから



新春&前田直前会長
慰労コンペ
於：大隅カントリークラブ

2/24
(月・祝)



◆スマイル報告

〈 5 件 〉

- 本日のインターアクトクラブの卓話（報告）、誠にありがとうございました。生徒たちも有意義な交流が出来たと思います。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。カムサハムニダ！…………… 前田（均）
- 中原さん、滝本さん、明日からよろしくお願いします。インターアクトの皆さん、今日は発表ありがとうございました。…………… 鶴丸
- 前回例会では誕生祝いありがとうございました。中央高校インターアクト生の皆さん、貴重な体験報告ありがとうございました。今後のご活躍を期待申し上げます。…………… 西ノ原

- 「平和の大使」派遣事業に際し、中原さん、滝本さん、宜しくお願いします。大変でしょうが楽しんで交流を深めてください。…………… 原田
- 台湾行って来ます。またご報告いたします。…………… 滝本

○本日の米山 BOX スマイルは 205 円です。

本日計 20,000 円 累計(一般) 198,000 円
(財団) 121,581 円 (米山) 134,451 円

***** ありがとうございます *****

RI ニュースより



RI 次期会長がロータリー会員の力について語る 「よいことのために手を取りあおう」

国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは、2月10日、米国フロリダ州オーランドで開かれたロータリー国際協議会で、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手を取りあおう」と会員に呼びかけました。

「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」。

こう述べたデ・カマルゴ氏は、ロータリーのパートナー団体がロータリー会員の「並外れた献身」を称賛したことに触れ、次のように続けました。「外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました」

サンパウロ（ブラジル）のサントアンドレ・ロータリークラブに所属するデ・カマルゴ氏は、新たな視点を模索し、世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性を強調しました。

よいことのために
手を取りあおう

その上で、成長のための「不可欠な 3 つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げました。

職業において、デ・カマルゴ氏は印刷会社である Gráfica Bandeirantes 社の社長を務め、ブラジル印刷業界のコンサルタントも務めています。また、印刷およびグラフィック関連の複数の業界団体の会長や理事も務めています。所属ロータリークラブがスポンサーとなっているサント・アンドレの医療センター「Casa da Esperança（希望の家）」の理事会メンバーでもあり、同センターには年間 20 万人以上の患者が訪れています。

週報担当： 椎本